

清掃活動で

見えてきた **ポイ捨て**

の **行動学**



サポセンのユースボランティアチーム

ぽぴーぐみ

2020 年度の **野望**

のたろ



秋 

((すかっこの 市民活動情報))



ぽぴーぐみのみんなに インタビュー



僕たちぽぴーぐみは2019年4月から「横須賀ポイ捨て防止プロジェクト」をおこなっている。月一の定例会のときにサポセン周辺で清掃活動をしていただけ、毎回そのゴミの中のタバコの量が多くてビックリしていて…。そこで僕たちはポイ捨てされるタバコに注目してみた。

まず、タバコはどんな場所に捨てられているのか、ポイ捨てタバコの捨てられポイントを調査。時間の許す限り月に数回のペースで清掃活動をおこない、ポイ捨てされるタバコの量を統計にまとめた。他にもタバコって何でできているのか、ポイ捨てタバコが海にたどり着いたとき、どのくらい海を汚すかということもシミュレーションしてみた。とにかく思いつくことをなんでもやってみた。

🎤 活動の中で予想外だったことってある？

タバコの本数かな 数えてみたらビックリしました。

🎤 ぽぴーぐみの目標が決まったって聞いたけど・・・

掃除→ゴミ→タバコって、行動から虫眼鏡で見るような観察を、興味が尽くすまで調べてみて、そこで得られたものをまた元の行動の大きさに戻して、みんなに伝えていきたいって思ってる。



ゴミの中のタバコの量多い！

🎤 活動から得たものはありますか？

地道に数字を取っていくこと、積み重ねることってあらためてスゴいなあと思います。

今回、できるものはできるだけ数字にしてみました。そうすると自分にも他の人にもわかりやすくなります。

「ポイ捨て行動」をタバコってというポイントに絞ることでデジタル化することができました。

🎤 新たな疑問とか？

ドブ板通りと中央付近の局所的な場所の調査を中心にしてきたが、「ほかの場所はどうなんだろう」と興味が尽きません。

🎤 今後の活動について聞かせて？

どうすればゴミを捨てにくくできるのかということを考えていきたい。続けていく中で、あらたな課題も出てきました。例えば、人を呼びたい。だけど、人が増えればゴミが増える。観光で来る人がいっぱい来ても、きれいな街を保つには、どうしたらよいかって。「人が増えれば増えるほどゴミが減る」システム。これからもみんな考えていきたいなあって思います。

ぽぴーぐみメンバー募集中！

「人や地域の役にたちたい！」と思ったことをみんなで実現していく高校生、大学生を中心としたボランティアサークルです。ラジオ番組作成や清掃活動、他団体とのイベント交流など、活動はメンバーのアイデア次第！
いっしょに活動してみませんか？

お問合せはサポセンへ。

☎ 046-828-3130



ドブ板通りでの清掃活動

はつらつ
澆刺とした身のこなしと、活動を見守るあたたかな眼差し、元気ハツラツ明るいまちづくりの佐藤昌久さんにお話を伺った。

終戦直後の昭和 22 年、横須賀市汐入に生まれ。姉 2 人と妹に囲まれて育った。「佐藤くんって優しいね」小学校の先生に言われた言葉を今でも覚えている。アメリカ兵がチョコをくれたので、どぶ板通りにもよく行った。子どもがたくさんいた時代、男の子女の子隔てることなく遊んだいう。

中学の卒業を控え先生に相談し思い悩んだ末、日産自動車の企業内の工業高校に進む。300 人の同級生と車のことを幅広く学んだ。就職のとき、車体の技術職を希望し、追浜工場に配属。同期 30 人のまとめ役だった。入社から 5 年ほど経った頃、先輩から一緒に組合活動をやらないかと言われた。その後の 20 年、組合の専従役員を勤めた。「組合費で飯を食わしてもらっているのだから、皆に何か返さなければならぬと思っていた。車づくりだけではわからない勉強をさせてもらった。」その後の 15 年は、再び車づくり、途中のキャリアが抜けている分、新しい技術に追いつくのに一生懸命だった。

定年まで 5 年と迫った頃、会社主催の年金と定年後についての勉強会に夫婦同伴で参加した。夫婦 2 人で暮らして行くお金の目処はついた。それよりどうやって充実した時間を過ごすかが大事だと思った。

あるとき、夫人の行きつけの美容院の先生が、開国 150 周年の記念イベントに踊り子として参加することになり、佐藤さん夫妻も誘われた。開国祭が終わったあと「機会があったらまた踊りたいよね」とメンバーのうち 9 人でチームを作った。THE☆すかっ子「ソーラン」の始まりだった。はじめの頃は、高齢者施設などに出向き「慰問に行きたい」とセールス活動もした。

活動が軌道に乗ってゆくと、観光協会や町内会のイベントから声がかかるようになってきた。そんなとき主催

者の希望は「1 時間の枠があるのだけれど、一緒に来てくれる他の団体はないか？」というものが多かった。これには、ひとつひとつの団体に確認して斡旋しなくてはならない。

それだったら、さまざまな団体をひとくくりにする組織をつくって横須賀の町おこしにつなげようではないか。そうして佐藤さんが実務面を取り仕切り、NPO 法人元気ハツラツ明るいまちづくりを設立した。

佐藤さんの原動力は、阿部志郎先生の言葉「ボランティアを、やってもやらなくてもいいんだったら人はやらない。だけど、やらないと恥ずかしいと思わせる社会を作りたい」ふっと胸に手を当てたときに、このまま何もやらなかったら俺は恥ずかしいな。そんな思いがある。

「あの時、すかっ子とのあいがなければ、今でも、会社で一生懸命働いていたかも知れない。でも、働く人間関係やかかわりあいは、会社人生の延長戦でしかない。ここでは、会社生活では知り得なかったさまざまな経験をもった先生方や仲間と語らうことができ、僕の勉強になっている。良い時間と良い人生を送らせてもらっている」充実した人生だという。

そして、後ろ見たら必ず女房がいて、嫌な顔一つもない・・・佐藤さんの楽しみは、夫妻でゆく、スイミングにスキー、そして海外旅行。今はコロナで中止になっている北欧のクルーズの再開を楽しみにしている。

コロナ禍での楽しみは、日曜大工や大楠山など自宅からのハイキング、歩いていると人がいません、お弁当は家族単位で食べています。と話してくれた。会社、ボランティア、家庭。若くて優しい心を持った一生懸命な姿勢、生き方を学ぶインタビューでした。

(はこざき)



団体紹介

団体名 NPO 法人 元気ハツラツ明るいまちづくり

ソーラン、フラ、民謡など多くのボランティア団体と連携をして、街のイベントへの参加やイベント立ち上げるなど、横須賀を盛り上げるために、がんばっています！
東日本大震災をきっかけに被災地支援のためのイベント「元気ハツラツフェスタ」を開催しています。

「元気ハツラツフェスタ」開催決定！
日時：10月3日（土）・4日（日）
場所：横須賀中央駅前広場



のたろん SDGs のこと、いろいろわかつちやっみたい



ぬまちゃん。
のたろんは、SDGs って自分で出来ることだって分かったから毎日やってるの！聞いて！



すごいすごい！何をしているの？



まずはね、エネルギー問題と気候変動問題のために、家の電気を全部オフにして、この夏は団扇と風鈴と怪談で過ごすことにしたよ！



ね... 熱中症には気を付けてね
... 冷蔵庫の中身平気かしら...



次にね、紙をつかって自然環境を破壊しないように、メモは手のひらに書くことにしたの！



わあ、ホントだ！腕くらいまで書いてある！？そのうち、耳なし芳一みたいになりそうね...



あとねー、お風呂の水がもったいないから、基本はシャワーを1分浴びるだけにして、雨の日は外で雨に濡れて節水するよ！



風邪ひくわよ...。あと降り始めの雨水は大気中の汚れでちょっと汚いわ。



最後にとっておきの SDGs を教えてあげる！のたろんはねスーパー行ったら見切り品を買うの！廃棄するものが減れば、環境にも優しいし、ひいては貧困問題にもつながるもの！だからあの 50%引きの赤いシールみるとワクワクするんだー！



なるほどー。ただの節約に見えることも視点を変えれば SDGs に繋がっているわよね。



だよ！ SDGs のこと知る前からスーパーには閉店間際について、割引シールついてるものを昔から買っていたから、のたろんは SDGs の天才かもしれないね！



やっぱり節約が好きだけに思えるけど...。普段していることや、これまでしてきたことが世界を変えることに繋がらるかもしれない。そう思えたら、それが何より大切な一歩だっという気がするの。それに気づかせてくれたから、のたろんは SDGs の天才でいいかもしれないわね。

甘党錦鯉

第7話

錦鯉的「○○の秋」

突然ですが、皆さん「○○の秋」と聞いてどんな言葉が思い浮かびますか？

「紅葉」「芸術」「読書」「スポーツ」...と様々なお答えが返ってきてきそうですが、錦鯉ファンにとって「秋」といったら「品評会の秋」というのも良いかもしれません。例年、全国各地で数々の美しい錦鯉が一堂に会する品評会が行われています。知り合いの養魚店（観賞魚などを取り扱っているお店）の店長さんから以前聞いた話によると、「1匹でBMW が買えちゃうくらいのもいるよ」とのことでした。いやあ...想像を絶する世界がそこにはありそうですね。

ちなみに、錦鯉にとって秋は非常に重要な季節になります。実は、錦鯉も冬の寒い時期を乗り切るために体力づくりをするんです。皆さん、体力づくりしてますか？適度な運動、栄養バランスのとれた食事って大事ですよ。錦鯉の体力づくりはとにかく「ご飯を食べさせる」こと。1年の中でも食欲が旺盛になる時期で、とにかく食べます。差し詰め「食欲の秋」といったところ。ご飯をあげてる側からすると、錦鯉が餌を食べる姿を見るのは癒されますし、一番楽しみの多い季節でもあります。体が大きくなったり色が良くなったり...そんな錦鯉の変化を楽しむことができるのも秋ならではといえそうですね。「芸術の秋」というのも当てはまりそうですね。

とにもかくにも、筆者は今日も我が家の愛錦鯉に餌をやりつつお団子モグモグ...結局「食欲の秋」になっちゃいましたとさ。めでたしめでたし(笑)

(小串滋彦)

サポセンtopics トピックス

復活 ロッカーに
よみがえった！ ちぎり絵

2007年(市制100周年のとき)に作った「ちぎり絵」が再びサポセンにお目見えしています。

見に来て～ 全長9メートル！

巨大



のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報
 - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
 - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろんWeb」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん

検索

情報誌「のたろん」秋号(通巻84号) 2020年10月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町3-27(京浜急行汐入駅徒歩1分)

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

